

－エネルギーの使用状況資料の解説－

令和5年11月

国土交通省北海道開発局

「世界の北海道」を目指して
－北海道総合開発計画－

 国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

北海道開発局ホームページへはこちらから。





1. エネルギーの使用状況資料について
～ 資料の概要と目的 ～
2. 一次エネルギー消費量一覧
～ 資料の確認方法 ～
3. 施設保全状況診断書(BIMMS-N)
～ BIMMS-Nによる一次エネルギー消費量の抽出方法 ～

1. エネルギーの使用状況資料について

本会議に合わせて、配付している資料

一次エネルギー消費量一覧

【〇〇管内】 × × 事務所 施設数: 6

延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱室による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱室)を元に算出しています。「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(ℓ)・ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種類の光熱室をエネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。
 データは、今後の精査により修正される可能性があります。
 一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。

凡例 規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安の上限値を超える
 エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点より2013年度比10%未満(比率が90%以上)
 詳しくは北海道開発局営繕部営繕課へお問い合わせください。(011-709-2311内線5730)

施設の規模	1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000 ㎡以上～ 2,000 ㎡未満	461 ～ 856
延べ面積 2,000 ㎡以上～ 3,000 ㎡未満	515 ～ 884
延べ面積 3,000 ㎡以上～ 10,000 ㎡未満	550 ～ 932
延べ面積 10,000 ㎡以上	644 ～ 1,175

国家機関の建築物等の廃止の現況(令和2年3月)より

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ

◆1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)

施設全体の状況

◆前年度からの増減率 (前年度/前年度) **10%**

◆2013年度からの増減率 (前年度/2013年度) **-6%**

※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
 ※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

実績年度	省庁	施設名称	敷地内建物延べ面積(合計)(㎡)	1㎡当たり一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)	年間一次エネルギー消費量(MJ/年)	1㎡当たりの一次エネルギー消費量前年度比率	1㎡当たりの一次エネルギー消費量2013年度比率	2013年度1㎡当たり一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)
2019	〇〇省	A事務所	1,000	700	700,000	88%	800	88%
2019	〇〇省	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	600	89%
2019	〇〇省	C事務所	900	833	750,000	111%	750	104%
2019	〇〇省	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	900	92%
2019	〇〇省	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	600	95%
2019	〇〇省	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	900	100%
全施設単純平均			1,617	806	1,308,333	108%	758	95%

エネルギー使用量の現況把握が、省エネの第1歩！

- ◆本資料は、国の機関に入力していただいている、官庁施設情報管理システム（BIMMS-N）の光熱量の入力値を基に作成。
- ◆提供資料は、毎年8月頃までに入力済みである前年度までのデータで提供しています。

2. 「一次エネルギー消費量一覧」

【〇〇管内】 ××事務所 施設数: 6

延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱室による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱室)を元に算出しています。
「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(t)・ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の発熱量をエネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。
データは、今後の精査により修正される可能性があります。
一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。
凡例
「規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安」の上限値を超えている
エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点より10%未満(比率が90%以上)
詳しくは北海道開発局宮内課宮内調整課へお問い合わせください(011-709-2311内線5730)

庁舎の規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

施設の規模	1㎡あたりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡年)
延べ面積 1,000㎡以上～ 2,000㎡未満	461～856
延べ面積 2,000㎡以上～ 3,000㎡未満	515～884
延べ面積 3,000㎡以上～ 10,000㎡未満	550～932
延べ面積 10,000㎡以上	644～1,175

国家機関の建築物等の健全の現況(令和2年3月)より

施設全体の状況

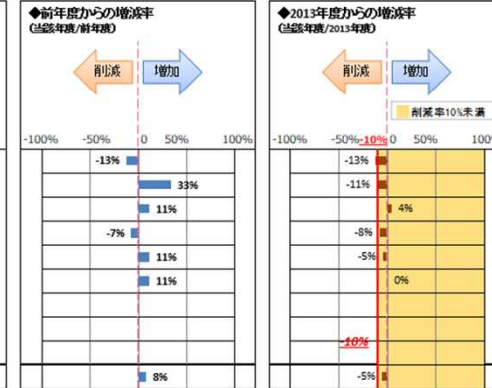
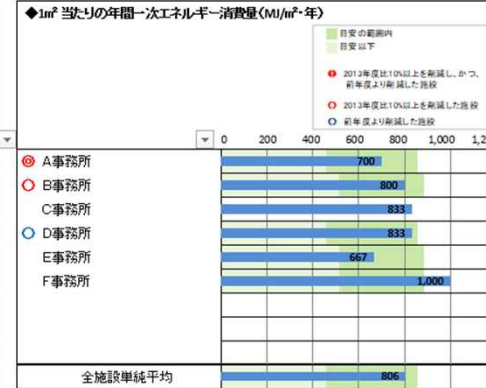
◆前年度からの増減率 (2020年度/2019年度)	◆2013年度からの増減率 (2020年度/2013年度)
10%	-6%

※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

実績年度	省庁	施設名称	敷地内建物延べ面積(合計)(㎡)	1㎡当たり一次エネルギー消費量(MJ/㎡年)	年間一次エネルギー消費量(MJ/年)	1㎡当たりの一次エネルギー消費量前年度比率	前年度1㎡当たり一次エネルギー消費量(MJ/㎡年)	1㎡当たりの一次エネルギー消費量2019年度比率	2019年度1㎡当たり一次エネルギー消費量(MJ/㎡年)
2019	〇〇省	A事務所	1,000	700	700,000	88%	800	88%	800
2019	〇〇省	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	600	88%	900
2019	〇〇省	C事務所	900	833	750,000	111%	750	104%	800
2019	〇〇省	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	900	92%	910
2019	〇〇省	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	600	95%	700
2019	〇〇省	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	900	100%	1,000
全施設単純平均			1,617	806	1,308,333	108%	758	95%	852

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ



官庁施設情報管理システム (BIMMS-N) の入力値を集計 一次エネルギー消費量とは？

電気・油・ガス等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料別の発熱量をエネルギー (MJ:メガジュール) で表したもの

$$\begin{aligned}
 & \text{電気使用量 (〇〇kw)} \times \text{換算係数 } 9.96 + \text{重油使用量 (〇〇kl)} \times \text{換算係数 } 39.1 + \text{ガス使用量 (〇〇m}^3\text{)} \times \text{換算係数 } 45 = \text{一次エネルギー消費量 (〇〇MJ)}
 \end{aligned}$$

2. 「一次エネルギー消費量一覧」

【〇〇管内】 ××事務所 施設数: 6

・延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱量による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱量)を元に算出しています。
 ・「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(t)・ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の換算エネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。
 ・データは、今後の検査により修正される可能性があります。
 ・一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。
 凡例 「規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安」の上限値を超えている
 エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点より2013年度比10%未満(比率が90%以上)
 詳しくは北海道開発局営繕部営繕調整課へお問い合わせください(011-709-2311内線5730)

庁舎の規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

施設の規模	1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000㎡以上～ 2,000㎡未満	461～856
延べ面積 2,000㎡以上～ 3,000㎡未満	515～884
延べ面積 3,000㎡以上～ 10,000㎡未満	550～932
延べ面積 10,000㎡以上	644～1,175

国家標準の建築物等の保全の境況(令和2年3月)より

施設全体の状況

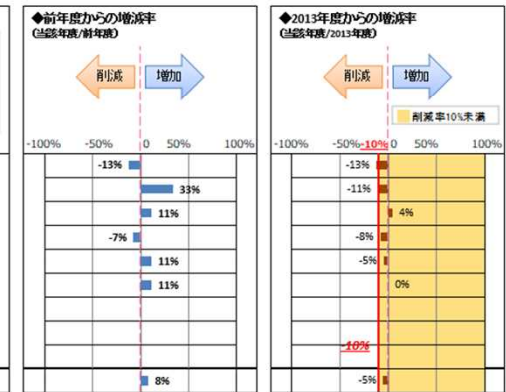
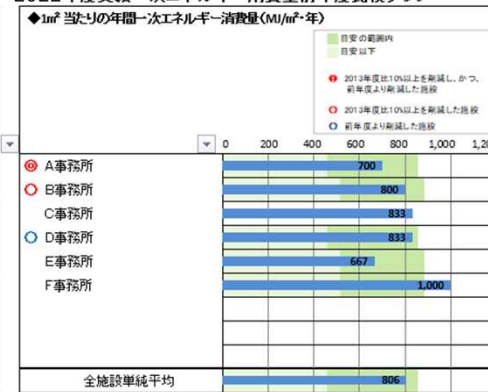
◆前年度からの増減率 (当該年度/前年度)	◆2013年度からの増減率 (当該年度/2013年度)
10%	-6%

※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
 ※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

実績年度	省	施設名称	延べ面積(㎡)	1㎡当たり一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)	年間一次エネルギー消費量 (MJ/年)	1㎡当たり一次エネルギー消費量 前年度比	前年度1㎡当たり一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)	1㎡当たり一次エネルギー消費量 2013年度比	2013年度1㎡当たり一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
2019	〇〇	A事務所	1,000	700	700,000	88%	800	88%	800
2019	〇〇	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	600	89%	900
2019	〇〇	C事務所	900	833	750,000	111%	750	104%	800
2019	〇〇	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	900	92%	910
2019	〇〇	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	600	95%	700
2019	〇〇	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	900	100%	1,000
全施設単純平均			1,617	806	1,308,333	108%	758	95%	852

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ



施設名称

類似施設のグループごとに、一覧になっている。

- ・ ブロック機関は、管内の所管施設
- ・ 合同庁舎は、道内の合同庁舎

2. 「一次エネルギー消費量一覧」

庁舎の規模別の単位面積あたりの年間一次エネルギー消費量の目安

敷地内建物の合計延べ面積 (附属屋等を含む)	単位面積あたりの年間 一次エネルギー消費量 (MJ/m ² ・年)
1,000 m ² 以上～2,000 m ² 未満	478 ～ 910
2,000 m ² 以上～3,000 m ² 未満	540 ～ 930
3,000 m ² 以上～10,000 m ² 未満	568 ～ 941
10,000 m ² 以上	631 ～ 1,115

国家機関の建築物等の保全の現況（令和4年3月）より

- 官庁施設情報管理システム（BIMMS-N）の光熱量入力値から算出
- 全国の国家機関の「庁舎」を集計し算出
(宿舎、病院、刑事施設等収容施設、防衛省の特殊施設、文化財・史跡、皇室用財産を除く)
- 1,000m²未満は、施設用途によりバラツキがあるため目安設定なし

2. 「一次エネルギー消費量一覧」

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

【〇〇管内】 ××事務所 施設数: 6

延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱量による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱量)を元に算出しています。
 「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(k)・ガス(m)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の純熱量をエネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。
 データは、今後の検査により修正される可能性があります。
 一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。

凡例
 [規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安]の上限値を超えている
 エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点で2013年度比10%未満(比率が90%以上)

詳しくは北海道開発局宮城部宮城調整課へお問い合わせください(011-709-2311内線5730)

庁舎の規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

施設の規模	1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000㎡以上～ 2,000㎡未満	461～856
延べ面積 2,000㎡以上～ 3,000㎡未満	515～884
延べ面積 3,000㎡以上～ 10,000㎡未満	550～932
延べ面積 10,000㎡以上	644～1,175

国家機関の建築物等の健全の現況(令和2年3月)より

施設全体の状況

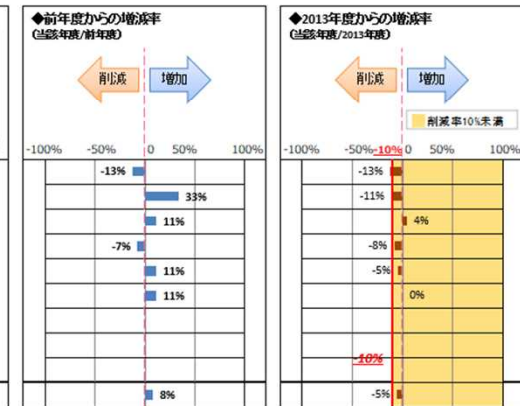
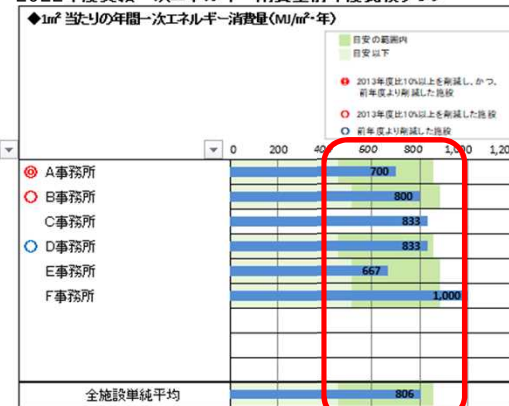
◆前年度からの増減率 (当該年度/前年度)	◆2013年度からの増減率 (当該年度/2013年度)
10%	-6%

※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費量の合計により算出しております。各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
 ※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

実績年度	省庁	施設名称	敷地内建物延べ面積(合計)(㎡)	1㎡当たり一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)	年間一次エネルギー消費量 (MJ/年)	1㎡当たり一次エネルギー消費量前年度比	前年度1㎡当たり一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)	1㎡当たり一次エネルギー消費量2013年度比	2013年度1㎡当たり一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
2019	〇〇省	A事務所	1,000	700	700,000	88%	800	88%	800
2019	〇〇省	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	600	89%	900
2019	〇〇省	C事務所	900	833	750,000	111%	750	104%	800
2019	〇〇省	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	900	92%	910
2019	〇〇省	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	600	95%	700
2019	〇〇省	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	900	100%	1,000
全施設単純平均			1,617	806	1,308,333	108%	758	95%	852

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ



比較① 1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

■ : 上限値を超えている ■ : 目安の範囲内

目安からはずれている場合は、当該施設の運用実態に対してエネルギー消費量が妥当か、確認をお勧めします。

運用実態で差が出る例

寒冷地などの地域特性、その年の気候、夜間・休日利用の状況
 合同庁舎・単独庁舎の形態等

2. 「一次エネルギー消費量一覧」

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

【〇〇管内】 ××事務所 施設数: 6

延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱量による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱量)を元に算出しています。
「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(t)・ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の発熱量をエネルギー(MJ)で表したものです。
データは、今後の検査により修正される可能性があります。
一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。
凡例
■ 規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安の上限值を超えている
■ エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点より2013年度比10%未満(比率が90%以上)
詳しくは北海道開発局宮内課宮内調整課へお問い合わせください(011-709-2311内線5730)

庁舎の規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

施設の規模	1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000㎡以上～ 2,000㎡未満	461～856
延べ面積 2,000㎡以上～ 3,000㎡未満	515～884
延べ面積 3,000㎡以上～ 10,000㎡未満	550～932
延べ面積 10,000㎡以上	644～1,175

国家機関の建築物等の保全の現況(令和2年3月)より

施設全体の状況

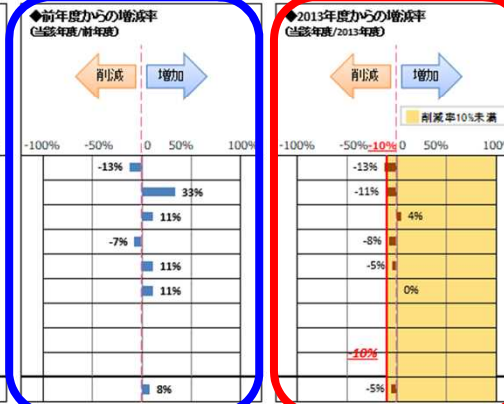
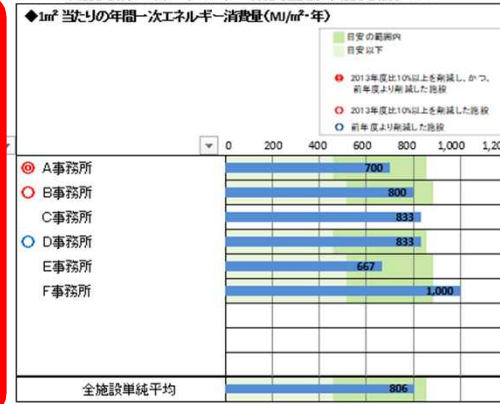
◆前年度からの増減率 (当該年度/前年度)	◆2013年度からの増減率 (当該年度/2013年度)
10%	-6%

※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

実績年度	省庁	施設名称	敷地内建物延べ面積(合計)(㎡)	1㎡当たり一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)	年間一次エネルギー消費量(MJ/年)	1㎡当たりの一次エネルギー消費量前年度比	前年度1㎡当たりの一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)	1㎡当たりの一次エネルギー消費量2013年度比	2013年度1㎡当たりの一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)
2019	〇〇省	A事務所	1,000	700	700,000	88%	800	88%	800
2019	〇〇省	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	600	89%	900
2019	〇〇省	C事務所	900	833	750,000	111%	750	104%	800
2019	〇〇省	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	900	92%	910
2019	〇〇省	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	600	95%	700
2019	〇〇省	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	900	100%	1,000
全施設単純平均			1,617	806	1,308,333	108%	750	95%	852

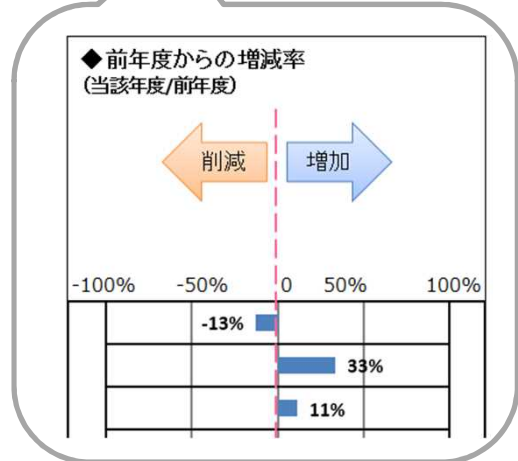
2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ



比較② 枠 前年度との比較

比較③ 枠 2013年度との比較

※ 異常値等により、2013年の数値としていない場合があります。



2. 「一次エネルギー消費量一覧」

【〇〇管内】 ××事務所 施設数: 6

延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱室による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱室)を元に算出しています。
「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(ℓ)・ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけ、燃料種別の発熱量をエネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。
データは、今後の精度により修正される可能性があります。
一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。
凡例
■ 規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安1の上限値を超えている
■ エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点より2013年度比10%未満(比率が90%以上)
詳しくは北海道開発局宮内課宮内調整課へお問い合わせください(011-709-2311内線5730)

庁舎の規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

施設の規模	1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000㎡以上～ 2,000㎡未満	461～856
延べ面積 2,000㎡以上～ 3,000㎡未満	515～884
延べ面積 3,000㎡以上～ 10,000㎡未満	550～932
延べ面積 10,000㎡以上	644～1,175

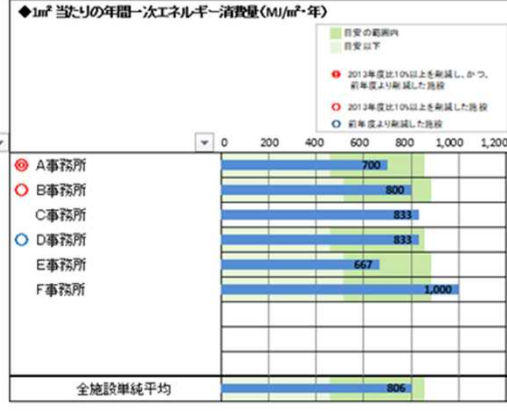
国家機関の建築物等の保全の現況(令和2年3月)より



単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

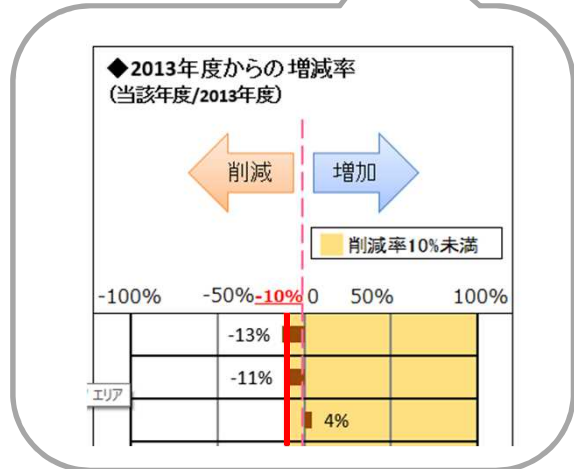
実績年度	省庁	施設名称	敷地内建物延べ面積(合計)(㎡)	1㎡当たり一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)	年間一次エネルギー消費量 (MJ/年)	1㎡当たり一次エネルギー消費量前年度比	1㎡当たり一次エネルギー消費量2013年度比	2013年度1㎡当たり一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
2019	〇〇省	A事務所	1,000	700	700,000	88%	88%	800
2019	〇〇省	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	80%	900
2019	〇〇省	C事務所	900	833	750,000	111%	104%	800
2019	〇〇省	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	92%	910
2019	〇〇省	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	95%	700
2019	〇〇省	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	100%	1,000
全施設単純平均			1,617	806	1,308,333	108%	95%	852

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ



比較③ 2013年度との比較

■ : 90%以上 (削減率10%未満)
 — : -10%



3. 「施設保全状況診断書(BIMMS-N)」

「保全実態調査結果診断・分析」で年・月ごとのデータを抽出

① 「保全実態調査結果診断・分析」を選択

② 施設を検索する条件を指定（調査年度を指定）

※必ず調査年度を指定してください。「最新」を選択すると正しく抽出されません。



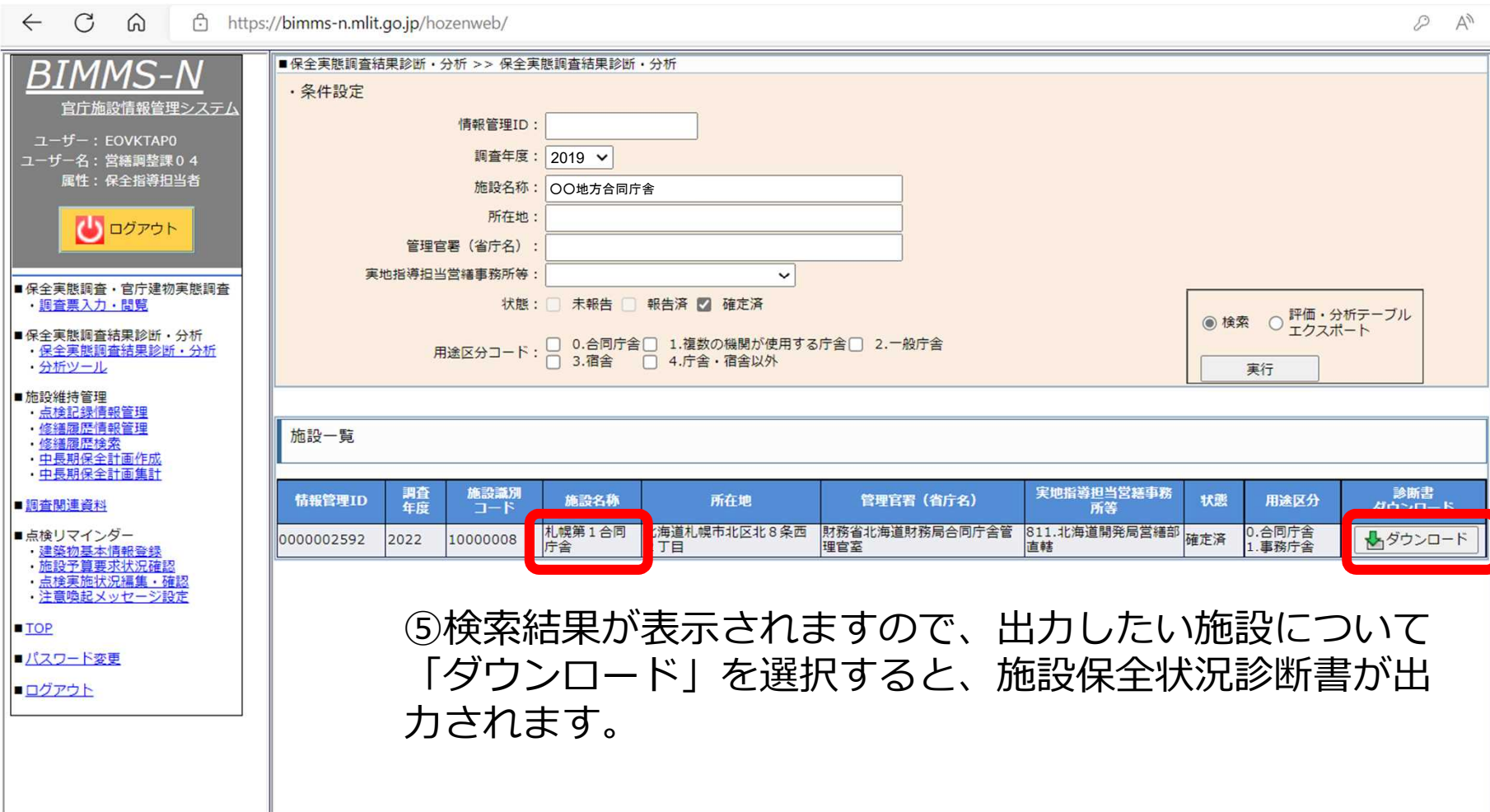
The screenshot shows the BIMMS-N system interface. On the left is a sidebar with navigation links, including '保全実態調査結果診断・分析' which is highlighted with a red box. The main area is titled '条件設定' (Condition Setting) and contains several input fields: '調査年度' (Survey Year) set to 2019, '施設名称' (Facility Name) which is empty and highlighted with a red box, '所在地' (Location), '管理官署 (省庁名)' (Prefecture), and '実地指導担当官事務所等' (Field Guidance Officer Office). Below these are checkboxes for '状態' (Status) and '用途区分コード' (Use Category Code). At the bottom right, there are radio buttons for '検索' (Search) and '評価・分析テーブル エクスポート' (Evaluation/Analysis Table Export), and a red box highlights the '実行' (Execute) button. Red arrows point from the numbered instructions to these specific elements.

留意事項

- 調査年度は、選んだ年度を含め過去3年分の状況が出力されます。
- 調査年度は、BIMMS-Nへの登録年度となるため、出力される数値はその前年度の数値記録となります。

3. 「施設保全状況診断書(BIMMS-N)」

「保全実態調査結果診断・分析」で月ごとのデータを抽出



The screenshot shows the BIMMS-N web application interface. The left sidebar contains navigation links for various system functions. The main content area displays search criteria and a table of search results. A red box highlights the 'ダウンロード' (Download) button in the table, indicating that users can download the diagnosis report for a specific facility.

■ 条件設定

情報管理ID:

調査年度: 2019

施設名称: ○○地方合同庁舎

所在地:

管理官署(省庁名):

実地指導担当官署事務所等:

状態: 未報告 報告済 確定済

用途区分コード: 0.合同庁舎 1.複数の機関が使用する庁舎 2.一般庁舎 3.宿舍 4.庁舎・宿舍以外

● 検索 ○ 評価・分析テーブル
エクスポート

実行

施設一覧

情報管理ID	調査年度	施設識別コード	施設名称	所在地	管理官署(省庁名)	実地指導担当官署事務所等	状態	用途区分	診断書ダウンロード
0000002592	2022	10000008	札幌第1合同庁舎	北海道札幌市北区北8条西丁目	財務省北海道財務局合同庁舎管理官室	811.北海道開発局営繕部直轄	確定済	0.合同庁舎 1.事務庁舎	ダウンロード

⑤ 検索結果が表示されますので、出力したい施設について「ダウンロード」を選択すると、施設保全状況診断書が出力されます。

3. 「施設保全状況診断書(BIMMS-N)」

施設保全状況診断書

■基本情報

施設名称	〇〇地方合同庁舎	都道府県	北海道	建物棟数	〇
組織区分コード	〇〇省 〇〇省	市町村	〇〇市	職員数合計	〇〇〇
施設識別コード	〇〇〇〇〇〇〇〇	敷地内建物の延べ面積(㎡)	53,133.62	エネルギー使用の特種な施設	—

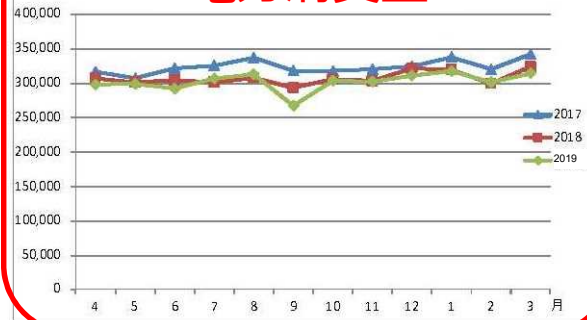
■評点

保全計画・記録	2017	2018	2019
施設保全責任者の有無	100	100	100
年度保全計画書の作成	100	100	100
中長期保全計画書の作成	100	100	100
点検及び確認結果の記録	50	100	100
修繕履歴の作成	100	100	100
評点	90.0	100.0	100.0
施設状況	2017	2018	2019
空気環境	100	100	100
照明照度	100	100	100
熱環境(冷暖房の状況)	100	100	100
衛生環境	50	50	50
清掃	100	100	100
消防・防災	0	0	0
建築・附帯施設 外壁の状況	100	100	100
建築・附帯施設 漏水の状況	100	100	100
設備機器	50	50	50
家具の転倒防止対策	50	50	50
避難経路等における障害物の有無	100	100	100
施設使用条件適合の可否(建築)	100	100	100
施設使用条件適合の可否(設備)	100	100	100
評点	80.8	80.8	80.8

定期点検	2017	2018	2019
建築物の敷地及び構造の点検	200	200	200
昇降機の点検	200	200	200
建築物の昇降機以外の建築設備の点検	0	200	200
支障がない状態の確認	200	200	200
消防用設備等の点検	100	100	100
危険物を取り扱う一般取扱所等の点検	100	100	100
事業用電気工作物の保安規定による自主点検	100	100	100
機械換気設備の点検	100	100	100
ボイラーの性能検査、定期検査	0	100	100
浄化槽の水質検査、保守点検、清掃			
簡易専用水道の水槽の清掃	100	100	100
排水設備の清掃	100	100	100
清掃等及びびねずみ等の防除	100	100	100
空気環境の測定	100	100	100
冷却塔・加湿装置等の清掃等	100	100	100
給水設備の飲料水・雑用水の遊離残留塩素等の検査	100	100	100
ばい塵発生施設のばい塵量又はばい塵濃度の測定			
評点	84.2	100.0	100.0
総評点	85.0	93.6	93.6

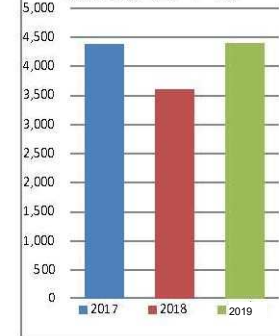
■エネルギー使用状況

電力消費量



■コスト管理

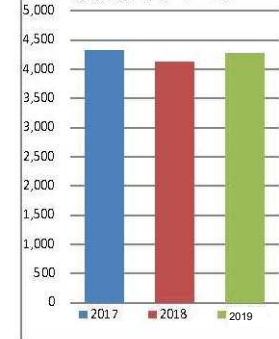
維持管理費 (円/年・㎡)



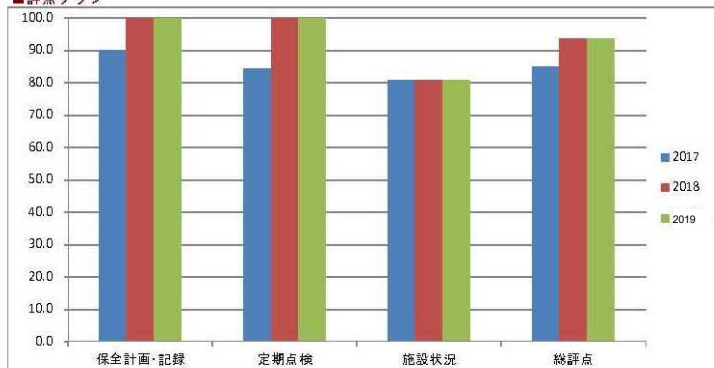
水使用量



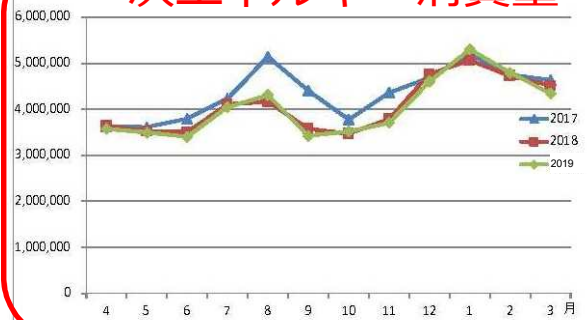
光熱水費 (円/年・㎡)



■評点グラフ



一次エネルギー消費量



修繕費 (円/年・㎡)

